



学校だより

令和4年1月8日
練馬区立北町西小学校
校長 小松田 早苗
第705号

よい仕事には、よい準備を

校長 小松田 早苗

謹んで新年のお慶びを申し上げます。今年の干支「壬寅（みずのえとら）」には新しく立ち上がることや、生まれたものが成長することといった意味があるそうです。子供たちのほとぼしるエネルギーや日々成長する姿が、社会全体の困難さや閉塞感に立ち向かう力になると実感する毎日です。本年も子供たちの成長と幸せの実現のために全職員で努力して参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

今日から始まる3学期は一年間の仕上げ、まとめの時期であると同時に、新しい学校生活や次の学年への準備期間でもあります。言い換えるなら、次学年の「0学期」にあたります。以前、子供たちにこんな話をしました。

—— 私は、いつも「よい仕事には、よい準備を」という言葉を大切にしています。

もう引退してしまいましたが、日米で活躍した野球のイチロー選手もこう言っています。

「始まる前の準備で結果は決まっている。準備とは、言い訳を排除することだ。」

たとえば、「漢字テストでよい点がとれなかったのは、昨日勉強しなかったからだ。勉強したらよい点がとれたはずなのに。」というのは、言い訳です。しっかり準備をした人は、こういう言い訳をすることはありません。できなかったことに言い訳をしないのです。日頃から準備をしっかりとやるからこそ、本番で自分の力を出すことができるということを心に留めて、学習の準備、心構えをしましょう。 ——

何をするにも、よりよい結果を出そうとするときには十分な準備が必要です。学習、生活の両面において今できるようになっていること、これから努力すべきことを確認し、春の進級、進学に向けたよい準備をしたいものです。

さて、明治時代以降、満20歳とされていた成人年齢が今年4月1日から18歳になります。制度上「一人前の大人」として扱われるようになるのが2年早まるわけですが、単に年齢を重ねるだけではなく、社会で人の役に立つ人間として成長することが求められます。このことを踏まえ、本校の教育目標を見てみると、次のような大人の姿を思い浮かべます。

<自らをみがき学び合う子> 生きるために必要な知識や技能をもち

<思いやりがあり助け合う子> 人のために役立つことに喜びを感じ

<心と体をきたえやりぬく子> 最後までやり通すことで他者の期待に応える

小学校段階では誰かにほめられたり喜ばれたりする経験を通して、人の役に立つことを実感しています。また、自分の夢や希望をかなえ自己実現を果たすことは一見、自分だけのこととして捉えがちですが、他者との関わりによってやり甲斐や生き甲斐を感じる時、それは人の役に立つ喜びにもつながります。学校だけでなく家族や地域、社会とのつながりの中でこうした機会を数多く味わうことによって、自ら人の役に立つ仕事がしたいと思える大人に近付いていくのでしよう。

大人への階段をじっくり、着実に歩む子供たちにしっかりと寄り添いながらこの一年間を過ごしていきたいと思えます。

社会科見学

令和3年12月21日に千葉県千葉市にあるJFE スチール千葉工場へ社会科見学に行ってきました。5年生は2学期に社会科で日本の工業について学習しました。日本の工業を支える技術や、そこで働く人々の思い、これからの工業に求められることなどについて学習しました。今回見学に行った工場は、製鉄所です。東京ドーム164個分という広大な工場なので、バスで敷地内を移動します。外国からやってきた石炭や鉄鉱石を運ぶ巨大な船、そこから荷物を下ろすクレーン、高くそびえる溶鉱炉、長さ600mにも及ぶ圧延工場のラインなどを実際に見ることができました。中でも、溶けた鉄を薄く延ばしながら固める圧延工場では、近くを1100度にまで熱せられた真っ赤な鉄が流れていきます。機械の大きさや、鉄の熱を肌で感じることができました。

約1年ぶりとなる校外学習となりました。実際に見て、感じることで、教科書を読むだけでは体感できないたくさんのお話を学ぶことができました。子供たちがこのような体験的な学習を今後もできることを願ってやみません。

学力グランプリ

北町西小学校では「学力向上アクション」として、子供たちの学力向上に向けた様々な取り組みを行っています。これまで、「東京ベーシックテスト」の結果をもとに2年生以上の全児童に個票を配布し、タブレット端末を活用して算数の学習内容の定着を図りました。また、学期末、長期休み明けにはこれまでの学習内容を把握し、計画的に復習に取り組ませることを目的とした「診断テスト」を、4、5、6年生を対象に実施しました。10月には5、6年生の希望者を対象とした「学力グランプリ」を実施し、多くの児童が参加しました。これは、今後子供たちに求められる「思考力、判断力、表現力」を育成することをねらいとした取り組みです。

「学力グランプリ」では、単に授業で学習する言葉の意味を知っていたり、公式を当てはめて使ったりするだけでは解けない問題が出題されます。これまでに身に付けた力を総合的に使って考えたり、その考えを表現したりする力が求められます。2月は4、5年生の希望児童を対象として「学力グランプリ」を実施します。

大人になった子供たちの前に立ちただかる問題は、答えやその解き方が1つだけではない問題がほとんどです。自分の持てる力を総動員し、周りにいる人の力を借りながら、そのような問題をよりよく解決していかなければなりません。自分で考え、道を切り開いていくことを楽しめるようになってほしいと思います。

10月の問題や、グランプリの回答は玄関に掲示しています。ぜひ2月の「学力グランプリ」にもふるってご参加ください。

特別支援教育コーナー ～「壁」を乗り越える～

A君は吃音があることで入級してきました。1年生の時です。

1年目のことばの発表会。

彼は口を押さえて決して自分の名前を言おうとはしませんでした。

どもってしまうのが怖かったのです。

私たちはこれを「吃音にとらわれている」と言います。

A君と私との関わりが始まりました。

とは言っても特別なものではなく、単にプレイルームにて二人で遊ぶというもの。

プレイルームの中ではA君が主役。遊びやそのルールなど全てを決めます。

まあ、王様みたいなものです。

でもそのことによって、感情がのびのびと解放されたり自己有能感を得たりするわけです。

2年が過ぎ、またことばの発表会の時期が来ました。

A君はひとりで演壇の前に立っていました。

そして自分の吃音のことについての作文を読みました。

「吃音はあるけど、しゃべれないわけではないので、ぼくは平気です」

強くなったA君は退級していきました。

3年が過ぎました。最高学年になっていたA君から突然ハガキが来ました。

今度の連合水泳記録会でリレーの選手になっている、ついては是非見に来てほしいと書かれていました。

私は出かけました。

A君はリレーの選手で大活躍していました。

でもそれだけではありませんでした。

彼は4校連合の会の総合司会をしていたのです。

障害って何だろうと思うときがあります。

わざわざ望んで得るものではありません。

でも障害という与えられた「壁」を乗り越えることができたとき、人は何倍も何十倍も強くなることもあるのです。

ことばの教室の先生になりたいと言っていたA君。

ほんの一瞬ですが彼と人生を交わした私も、彼のおかげで少しだけ強くなれたような気がするのです。



1月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土		
						8		
						始業式 学校公開日 (235年生のみ公開) 3時間授業 456年 休み明け テスト① 11:40最終下校		
						3 3 3 3 3 3		
9	10	11	学	12	13	学		
	成人の日	給食始 ことば通級始 発育測定 (56) 456年 休み明け テスト②		発育測定 (34)	発育測定 (2)	発育測定 (1) 委員会 (予定)	15	
		5 5 6 6 6 6	6	4 4 5 5 5 5	5 5 6 6 6 6	6 5 5 5 5 5 5		
16	17	朝	18	学	19	20	学	
	社会科見 (6) 延期					クラブ (予定)	22	
	5 5 5 6 6 6	6	5 5 6 6 6 6	6	4 4 5 5 5 5	5 5 6 6 6 6	6 4 5 5 5 5 5	
23	24	朝	25	学	26	27	集	
	おはなしの会 (135)					社会科見 (3)	体力向上旬間始 (長短縄) クラブ (予定)	29
	5 5 5 6 6 6	6	5 5 6 6 6 6	6	4 4 5 5 5 5	5 5 6 6 6 6	6 4 5 5 5 5 5	
30	31	朝	1	学	2	3	学	
	おはなしの会 (246)			学カグランプリ (予定)			クラブ (予定)	
	5 5 5 6 6 6	6	5 5 6 6 6 6	6	4 4 5 5 5 5	5 5 6 6 6 6	6 4 5 5 5 5 5	

朝…朝会 学…朝学習 音…音楽朝会 () 内の数字は該当学年

日付下部の数字は左から順に第1学年から第6学年までの授業時間

※今月の避難訓練は予告なしで行います。

今年度の書初め展につきましては、感染症対策を講じたうえで実施いたします。
詳細につきましては、別途お知らせいたします。

〈スクールカウンセラー来校予定〉

1月13日(木) 20日(木) 27日(木)

※詳細は副校長にお問い合わせください。 TEL 03-3932-7234